

● アットホーム、「もし実家が空き家になったら」調査結果を公表

アットホームは9月8日、全国の30～40代男女618名を対象に、「もし実家が空き家になったら」調査を行い、調査結果を発表した。主な結果は下記の通り。

■ 空き家になった実家をどうしたいか？

- ・ 売却：41.6%
- ・ 賃貸（土地活用含む）：11.7%
- ・ 自分または親族が住む：34.8%
- ・ 空き家のまま管理：7.9%

「空き家のまま管理」を含めると、自己利用の希望が4割を超える。

■ 買い手、または借手は見つかるか？

- ・ 買い手が見つかる：42.9%
- ・ 借手が見つかる：31.9%

空き家は、売却するよりも借手を探す方が難しいと考えられている。

■ 売却したい理由（上位3項目）

- ・ 将来実家に住まない：49.8%
- ・ 現金収入が欲しい：38.5%
- ・ 固定資産税を払いたくない：31.8%

■ 賃貸（土地活用）したい理由（上位3項目）

- ・ 賃料収入を得たい：61.1%
- ・ 将来自分が住む可能性がある：33.3%
- ・ 売っても利益が見込めない：27.8%

次いで、「慣れ親しんだ家や土地を手放したくないから（26.4%）」となっており、賃貸にする理由として、実家を手元に残したいと考えている人が少なくない。

■ 空き家に関するサービス、法律について

- ・ 空き家管理サービスの存在を知っている：26.7%
- ・ 空き家バンクを知っている：14.7%
- ・ 「空き家対策のための特別措置法」が執行されたことを知っている：35.8%

30、40代の空き家に関するサービス、法律についての認知度は、高いとは言えない。

[アットホーム：ニュースリリース（2015年9月8日）](#)